

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

3月30日 人権研修開催



当社の人権啓発活動の取り組みの一環として、「2022 年度人権実務研修」を開催しました。

総務部長が講師を務め、「なぜ企業が人権課題に取り組むのか」をはじめ、「人権に関する基礎知識・トピックス」、「東レグループの人権に関する通報・相談の状況、通報・相談事例」、「差別やハラスメントのない職場をつくるために」、「ワンポイント学習資料の解説」などの内容について研修を

行いました。

研修は Teams を利用し、滋賀、愛媛、石川、福井の各部署から 32 名が参加しました。

他者の尊厳を尊重する「人権感性」を一人ひとりが高め、職場の和を保つことが重要であること。そのために、一方的ではなく、想像力・共感力を高め、相手のことを思いやり、気づきにつながる相互コミュニケーションにより、ハラスメントのない職場づくりを進めることの必要性を理解する研修となりました。

(担当部署:総務部 Tel:077-534-0956)

【東レエンジニアリングのモノづくり体制強化への工事協力】

保全事業本部 滋賀保全事業部

東レエンジニアリング（以下、TRENG）の主力製品であるリチウムイオン電池製造装置の受注拡販と安定した供給体制を構築するためのプロジェクトに、滋賀保全事業部保全 2 部（以下、保全 2 部）が参画し、既設設備の撤去、新規導入設備の設置エリアの空調、設備への用役・電源供給等の工事を担当しました。

本プロジェクトでは、TRENG と保全 2 部にてレイアウト変更案や工事スケジュールの協議を重ね、新規導入設備の設置スペースを確保するところから始めました。

現場調査段階では、図面が古く電源調査など予想以上に時間を要したり、レイアウト変更については限られたスペースに設備を配置するなど、工事進捗が難航することも多々ありましたが TRENG との連携を密にして確実に工事を進めることが出来ました。

また、設備の設置エリアが以前はクリーンルームで建屋断熱はしっかりしていたので、空調設備を適正な能力で選定・更新したことで、従来比約半分の電気使用量に抑え込み省エネを実現しました。

保全 2 部は、主に修繕工事や点検業務などを担当する部署ですが、今回の大型プロジェクトを工期通り無災害で完遂したことにより、TRENG グループの一員として貢献することができ、さらには今後の業務拡大につながる大きな自信になりました。





保全事業 豆知識 9 『振動計による回転機械の設備診断』

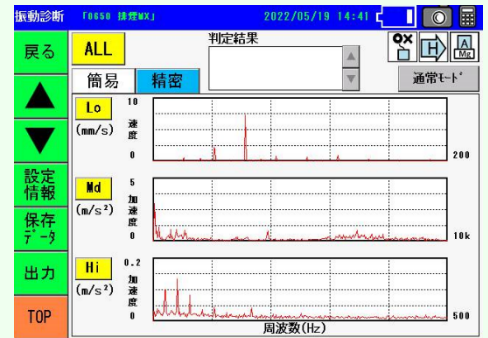
モーターやポンプなどの回転機械は、振動を測定して解析することで、故障の予兆や不具合箇所をいち早く捕えることが可能です。

回転機械に使われているシャフト、ギヤ、ベアリングなどは、ひずみや傷などの微細な欠陥が生じるとその欠陥に対する特徴的な周波数が発生し、それらを振動計で測定・解析することにより異常の程度や発生箇所を診断することが出来ます。

その結果を基に早期に対応することで、回転機械の故障率の低下、設備信頼性の向上、保全費用の低減などの効果が期待出来、設備診断技術の一つとして国内外で広く活用されています。

滋賀保全事業部では多機能なポータブル振動測定器を用いて東レのみならず外部各社の回転機械の設備診断を行っています。

また高度な振動測定技術の習得にも積極的に取り組んでいます。



周波数解析結果（例）



ポンプの振動測定



振動測定器

新入社員導入教育

4月3日の入社式後から6日まで、新入社員は社内のルールや基礎知識を学びました。座学だけでなく実技実習も織り込み、コミュニケーションゲームを通じて「言葉だけで正確に伝えることの難しさ」も学びました。

(担当部署:総務部 Tel:077-534-0956)



本社での座学



実技実習
ボルト締結シミュレーター